



## 日本の里海 ～三重県鳥羽市における地域資源としての 自然環境・共生文化・生物多様性活用モデル実証事業～ 国立大学法人三重大学

### 事業概要

鳥羽市の生物多様性に富む自然環境と海女をはじめとする歴史・文化という地域資源に対し、生物多様性・環境モニタリングを持続的に実施可能な体制を構築する。人口減少・少子高齢化という地域課題に対し、地域資源を活用した観光プログラム・教育プログラムを構築・実施する体制づくりを行い、定住者・関係人口を増加させステークホルダーが持続的に生まれ続ける環境を目指す。



### 今年度取り組み内容

鳥羽市における持続的に実施可能な生物多様性・環境モニタリングのあり方に関するステークホルダー間の情報共有と方向性の決定を行なった。地域資源を活用した観光プログラム構築にかかるステークホルダー間での意見交換を行ない、モデルツアーを構築・実施した。地域資源を活用した教育プログラムを構築・実施し、それらの効果をアンケート調査等により明らかにした。



### 今年度成果



鳥羽市における持続的に実施可能な生物多様性・環境モニタリングのあり方に関するステークホルダー間の情報共有と方向性の決定を行なった。生物モニタリングに必要な写真データ等を取得した。地域資源を活用した観光プログラム構築にかかるステークホルダー間での意見交換を行ない、モデルツアーを構築・実施した。地域資源を活用した教育プログラムを構築・実施し、それらの効果をアンケート調査等により明らかにした。

### 次年度以降の目指す方向性

地域の実施主体を地方大学がサポートし、地域文化や自然環境のモニタリングと保護・保全、地域資源を活用した教育プログラムの展開、漁業と観光の連携促進を進める。地域の実情に合わせた持続可能な実施体制の構築を検討し、特に海洋教育、観光プログラムの実践が可能な人材の確保や、受け皿となる枠組みなどを構築することを目指す。



問い合わせ先

国立大学法人三重大学 担当:山本 康介

電話:0599-37-7056 メール:y-kosuke@bio.mie-u.ac.jp